

鹿児島県の農林水産物を世界へ

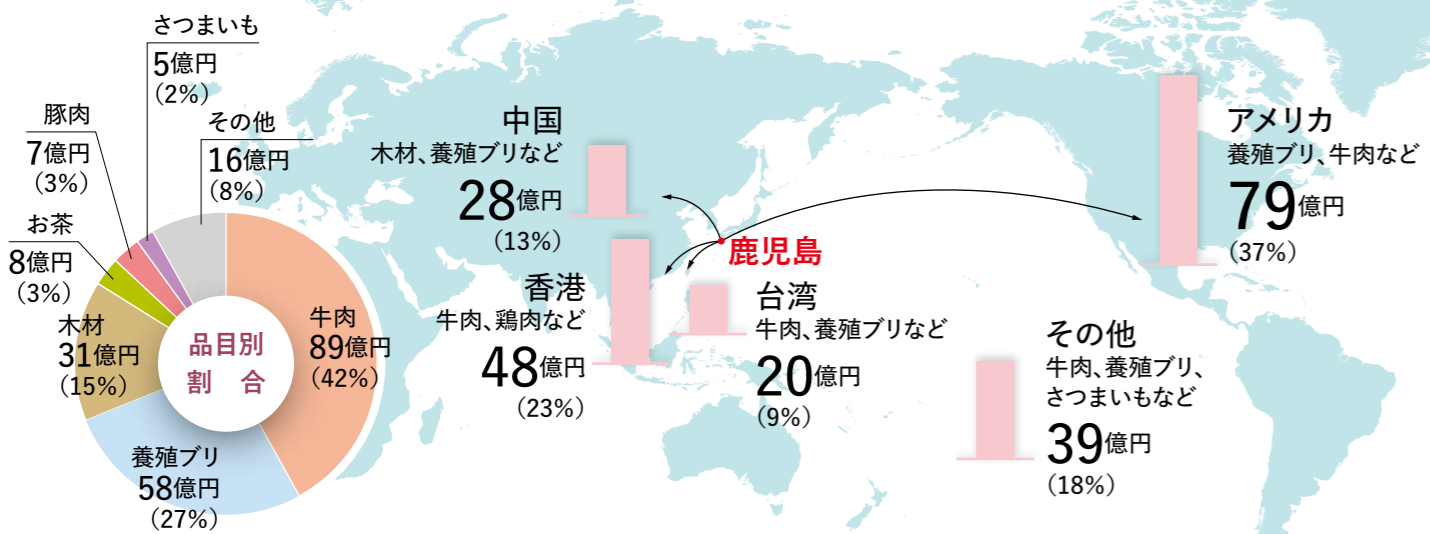
海外市場は新たなビジネスチャンス

鹿児島にはたくさんの素晴らしい農林水産物があります。しかし、日本国内においては、人口減少に伴い、食市場も縮小の傾向にあります。今後、本県の基幹産業である農林水産業を維持・発展させていくためには、急速な経済成長を続けるアジア諸国などの海外市場をターゲットとした、輸出の拡大に力を入れることが重要となってきています。

目指せ、300億円!

本県の令和2年度の県産農林水産物輸出額は214億円に上り、農畜林産物においては平成23年度の公表開始以降、最高額を更新しました。今後、さらなる輸出の拡大により、令和7年度には輸出額を300億円にまで伸ばすことを目指しています。

主な輸出先国・地域と輸出品目



※数値は令和2年度実績

Topics

鹿児島県とPPIHとの連携協定締結から1年～ PPIHが取り扱う県産農畜水産物輸出額が どんどん伸びています!



県は、県産品の海外への販路拡大や県内港湾からの輸出促進などを図るため、国内で「ドン・キホーテ」などを運営しているPPIH(株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス)と令和2年10月に連携協定を締結しました。アジアを中心とする海外店舗で本県産のさつまいも、キャベツ、だいこんなどが販売され、同社が取り扱う県産農畜水産物の輸出額は、連携協定締結から1年で約2.3億円伸び、総額約7.3億円になりました。

主な連携の取り組み



県産品の海外への販路拡大
取扱品目を増やすため、オンラインによる商談を随時実施



「KAGOSHIMA」の認知度向上
アジア3か国の店舗で「どんどん鹿児島フェア」を実施



県内港湾等からの輸出促進
青果物を混載したコンテナを志布志港からシンガポールへ輸出



特集

世界に挑む! KAGOSHIMAの農林水産物

温暖な気候、豊かな自然により、世界に誇れる農林水産物を豊富に有している鹿児島。アジアに近いという地理的優位性を生かし、近年、県産品の輸出に積極的に取り組んでいます。安心・安全で高品質な県産農林水産物が「かごしまブランド」として、今後さらに世界に広まっていくよう、取り組みが進められています。



県産農林水産物輸出用統一ロゴマーク

鹿児島のシンボルである桜島の噴煙を桜の花に変化させ、背景を日の丸にすることで鹿児島(日本)らしさを表現。黒牛、黒豚など黒のイメージを桜島で強調し、黄金の虹が海外に向けてかかることで、鹿児島の素晴らしい農林水産物の輸出拡大を目指すメッセージが込められています。